

---

殿

---

一般社団法人 日本トライボロジー学会

## 講演発表の投稿の推薦書

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

トライボロジー会議 2022 秋 福井 における貴殿の研究発表は、学術ならびに工学上大変優れた内容であり、「トライボロジスト」もしくは「Tribology Online」への掲載による学界・産業界への本情報の発信が期待されます。この機会に、その内容を精査して論文としてまとめ、ご投稿いただくことをご一考いただければ幸いです。

- ・ 推薦種目： 学术论文 / 技術論文 / 速報論文 / Tribology Online (座長記入)  
(種目の詳細は次ページを参照ください)

「トライボロジスト」と「Tribology Online」の校閲委員会は、ご投稿いただきました論文を通常の手続きに従い校閲し、すみやかに掲載の可否をお知らせできるように鋭意努力いたします。

なお、ご投稿時には一般投稿との区別のため、必ず、推薦による投稿である事及び以下の事項を明記いただきますようお願い申し上げます。

- ・ 研究発表会名：トライボロジー会議 2022 秋 福井
- ・ 講演番号：

「トライボロジスト」につきまして、本推薦を受けたご講演に関する論文を 2023 年 5 月 12 日(金)までにご投稿いただいた場合、掲載料は無料とさせていただきます(カラー料金は除く)。この際、本推薦書が必要になりますので、ご投稿いただける方はお手元に保管してください。

貴殿のご研究のますますの発展を祈念いたします。

敬 具

## — 「学術的成果」を国内にアピールしたい方に —

### 「トライボロジスト」学術論文について

「トライボロジスト」の投稿種目には、2017年1月投稿受付分より、新種目「技術論文」創設に伴い、主に「学術的価値」を主張点とした種目を「学術論文」として受け付けております。「トライボロジスト」学術論文への投稿には、以下のメリットがあります。

- 1) 「トライボロジスト」は約165社もの維持会員へ配布されており、学界だけでなく産業界にも広く研究成果をアピールできます。毎月約3000部発行されています。
- 2) 「トライボロジスト」へ投稿の場合、投稿からWeb掲載まで最短3ヶ月です。これは他学会と比べて短くなっておりますので、大学院生の研究成果の発信の場などにもご活用ください。先生方には、投稿を薦めていただけますとともに、論文執筆のご指導をお願いいたします。

## — 「技術的成果」を国内にアピールしたい方に —

### 「トライボロジスト」技術論文について

「トライボロジスト」の投稿種目には、2017年1月投稿受付分より、主に「工業的有用性」を主張点とした新種目「技術論文」を設けております。

「技術論文」では、製品開発の過程で着想され課題解決につながった新技術、優れた性能を実現するための鍵となった技術や技術の組合せなどを評価し、学術的な完結性、厳密性を評価基準から外します。優れた製品開発につながった貴重な成果を「技術論文」としてまとめてみてはいかがでしょうか。「トライボロジスト」への投稿には、以下のメリットがあります。

- 1) 「トライボロジスト」は約165社もの維持会員へ配布されており、学界だけでなく産業界にも広く研究成果をアピールできます。毎月約3000部発行されています。
- 2) 「トライボロジスト」へ投稿の場合、投稿からWeb掲載まで最短3ヶ月です。これは他学会と比べて短くなっておりますので、技術内容の早期アピールにも活用いただけます。

## — いち早く国内に成果を発信したい方に —

### 「トライボロジスト」速報論文について

「トライボロジスト」の投稿種目には、「学術論文」「技術論文」（標準8ページ以内）のほか、過度の完結性や発展性を求めない「速報論文」（標準4ページ以内）があります。トライボロジー会議で発表された貴重な成果を「速報論文」としてまとめてみてはいかがでしょうか。「トライボロジスト」への投稿は、以下のメリットがあります。

- 1) 「トライボロジスト」は約165社もの維持会員へ配布されており、学界だけでなく産業界にも広く研究成果をアピールできます。毎月約3000部発行されています。
- 2) 「トライボロジスト」へ速報論文を投稿の場合、投稿からWeb掲載まで最短2ヶ月です。これは他学会と比べて短くなっておりますので、大学院生の研究成果の発信の場などにもご活用ください。先生方には、投稿を薦めていただけますとともに、論文執筆のご指導をお願いいたします。

以上、「トライボロジスト」への投稿の詳細につきましては、本会Webサイト (<https://www.tribology.jp/publication/journal/koetsu.htm>) をご覧ください。

— いち早く世界に成果を発信したい方に —

**「Tribology Online」について**

“Tribology Online” は、以下を編集方針とし、校閲のスピードアップに努めています。

- 1) 優秀な研究をいち早く世界に発信するという観点から、速報性が重視される萌芽的な研究、新しい実験的事実の公表なども積極的に掲載する。
- 2) 特に若い技術者・研究者が積極的に自身の研究を世界に問う場を提供する。
- 3) 既に国際会議の Proceedings に掲載された内容を多く含んでいても新たな知見や考察を含んでいれば、掲載を妨げない(Copyright に抵触しない範囲で)。

“Tribology Online” は 2名以上の査読者により校閲が行われる「査読付き」論文です。掲載される記事の種別は、論文(Article)、速報論文(Short Communication)、解説(Review)の3種類です。また、博士後期課程の学生や、奨学金の返済免除のための研究成果を必要とする大学院生を含め若い技術者・研究者の研究成果として十分通用するものです。大学院生等をご指導されておられる先生方においては、投稿を強く薦めていただけますとともに、論文執筆のご指導をお願いいたします。

なお、論文中に「(Presented at JAST Tribology Conference in Fukui, November 2022)」の1行を挿入し、トライボロジー会議 2022 秋 福井 で発表された内容であることを明示いたします。

「Tribology Online」への投稿の詳細につきましては、本会 Web サイト (<https://www.tribology.jp/trol/>) をご覧ください。